

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【公表番号】特表2006-506025(P2006-506025A)

【公表日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-007

【出願番号】特願2005-501356(P2005-501356)

【国際特許分類】

**H 0 4 L 12/22 (2006.01)**

**G 0 6 F 13/00 (2006.01)**

**G 0 9 C 1/00 (2006.01)**

**H 0 4 L 12/56 (2006.01)**

**H 0 4 N 7/173 (2006.01)**

**H 0 4 L 9/32 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 L 12/22

G 0 6 F 13/00 5 4 0 A

G 0 9 C 1/00 6 4 0 D

H 0 4 L 12/56 3 0 0 A

H 0 4 N 7/173 6 1 0 Z

H 0 4 L 9/00 6 7 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月31日(2007.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

メタデータ伝送サーバーでのメタデータ管理方法において、

(a) 伝送されるメタデータを所定のセグメント単位に分割して複数のフラグメントデータを生成する段階と、

(b) 生成されたフラグメントデータのうち、所定のフラグメントデータを選択する段階と、

(c) 前記選択されたフラグメントデータからメタデータ関連情報を生成する段階と、

(d) 前記選択されたフラグメントデータと前記生成されたメタデータ関連情報とを、前記メタデータ関連情報を生成するために使用されたフラグメントデータのタイプを表すデータフォーマット情報と共に伝送する段階とを含むことを特徴とする管理方法。

【請求項2】

前記選択されたフラグメントデータ、前記生成されたメタデータ関連情報、及び前記フラグメントデータのフォーマット情報は、一つのメタデータコンテナに挿入されて伝送されることを特徴とする請求項1に記載の管理方法。

【請求項3】

前記データフォーマット情報は、メタデータ関連情報生成のために使用されたフラグメントデータが2進XMLフォーマットであるか、またはテキストXMLフォーマットであるかを表すことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記メタデータフラグメントデータは、メタデータの意味あるセグメント単位であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記メタデータコンテナには、メタデータの認証レベルを特定する認証レベルフラグが更に挿入されることを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記メタデータ関連情報は、前記選択されたフラグメントデータを一方向関数に入力して得られたメタデータダイジェスト情報であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記一方向関数は、ハッシュ関数であることを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記生成されたメタデータ関連情報と第 1 暗号化キーとを使用してメタデータ認証署名情報を生成する段階を更に含み、前記生成されたメタデータ認証署名情報を、前記選択されたフラグメントデータが挿入されたメタデータコンテナに挿入する段階を更に含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記メタデータ認証署名情報は、前記生成されたメタデータ関連情報と第 1 暗号化キーとを一方向関数に入力して得られた結果値であることを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 1 暗号化キーを、第 2 暗号化キーを使用して暗号化する段階と、前記暗号化された第 1 暗号化キーを、前記前記選択されたフラグメントデータが挿入されたメタデータコンテナに挿入する段階と、を更に含むことを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記メタデータコンテナには、複数のフラグメントデータ及び対応する複数のメタデータ関連情報が挿入され、それぞれのフラグメントデータと対応するメタデータ関連情報はポインタ情報により連結されることを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 12】

前記メタデータコンテナには、複数のフラグメントデータと対応する複数のメタデータ関連情報及び複数の認証署名情報が挿入され、それぞれのフラグメントデータと対応するメタデータ関連情報及び認証署名情報は、ポインタ情報により連結されることを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】